

エキノコックス対策の現状

～エキノコックス駆除に着実な効果があらわれています～

町では、H21年度からエキノコックス駆除のため ベイト（薬剤の入ったキツネのえさ）の散布を「ニセコ町エキノコックス駆除対策推進員」の皆様の協力により実施しています。

その結果、散布作業前のH20年のニセコ町での抗原陽性率（キツネのふんにエキノコックスの卵が存在していた痕跡がある）が約33%でしたが、H25年度は2.9%まで低下し、着実な効果がみられています。

人への感染が心配されるエキノコックスは、1980年代には全道に広がっていることが確認され、最近では飼い犬を通じた人への感染も心配されています。そのため正しい知識を持って対処していくことが、一層求められています。

ぜひ、この機会に、ニセコ町での取り組み状況や予防方法などのお話を聞いて理解を深めてみませんか。

とき 6月6日（金）18時30分～20時30分

ところ ニセコ町民センター 大ホール

申込不要です
気軽にお越しください！

参加無料

内容 講演

『ニセコ町のエキノコックス駆除の取組と効果』

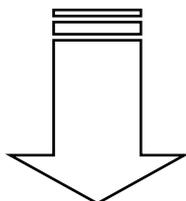
講師 神谷正男 さん（北海道酪農学園大学特任教授）

意見交換

『エキノコックス駆除対策について』



裏面のエキノコックス駆除
方法についてもご覧ください。



主催 ニセコ町
お問合せ ニセコ町保健福祉課 健康づくり係
担当 上仙、黒萩 電話 0136-44-2121
E-mail : kenko@town.niseko.lg.jp

■エキノкокクス駆除方法とベイト(キツネのエサ)について

1. エキノкокクスの駆除は、ベイトと呼ばれる虫下しのエサを道路沿いに散布する方法で行います。散布したベイトは、縄張りを持つキツネに食べさせることが目的です。
2. ベイトを食べることによって、キツネの体内からエキノкокクスが排出されます。ベイトを食べてもキツネは死にません。
このため、健康になったキツネが自分の縄張りを守るため、エキノкокクスに感染したキツネの進入を防ぐこととなります。
3. ベイトは、虫下し入りの薬剤(プラジカンテル)を魚のすり身に混ぜて作ります。ベイト1つの大きさは消しゴム大です。
4. ベイトは道路沿いに、約100m間隔に1つ散布します。犬や人間が食べても健康に影響はありません
5. ベイトは5月から11月まで、月に1回のペースで、計7回程度散布します。
なお、散布数は1回約1,400個です。
6. 9月頃に町内のキツネの糞を採取し(約100個)、エキノкокクス感染の減少状況を把握。



ベイトと呼ばれるキツネのエサ

■ベイト散布作業ボランティア募集中！！

ニセコ町では、ベイト散布作業をボランティアにご協力をいただいています。

月1回の作業を交代で行っています。ニセコ町で取り組んでいるエキノкокクス対策をご理解いただき、普及活動にご協力いただける方を募集します。

活動内容

- ① 2人1組でベイト散布作業を行います。午前9時集合、所要時間は2時間程度。当番を決めますので都合の良い日に協力いただきます。
- ② 地域の方へ町のエキノкокクス対策や予防などを勧めます。
詳しくは担当者へお問合せください。

ニセコ町役場保健福祉課健康づくり係
電話0136-44-2121